



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 26 年 2 月 8 日(土)  
まち灯り・冬準備 ろうそくづくり 編

2 月 8 日、子ども館で廃食用油を利用したろうそく作りを行いました。

子どもたちがスギ灯りに入れるろうそくを作り、2 月 15 日に開催される「のしろまち灯り・冬」で環境にやさしい灯りを灯します。今回は、のしろまち灯り・夏に引き続き能代市の環境学習講座「能代こども環境探偵団」との共催で、満 3 歳から中学 2 年生まで 47 名(保護者含む)の参加をいただきました。夏と同様たくさんの方の参加がありました。

当日は、午前と午後の 2 回に分けて開催しました。はじめに寺内先生(午前)、浅野先生(午後)のお話を聞き、市民や学校給食センターから提供された廃食用油からのろうそく作りを行いました。全部で 210 個のろうそくを製作しました。また、木材高度加工研究所の斎藤健志先生の指導のもと、廃食用油からの BDF 製作実験も行いました。ゴーグルや使い捨て手袋を着け緊張している様子に見うけられました。とても興味深そうに実験に参加していました。

参加したお子さんからは「楽しかった。作ったろうそくで明るくなるのが楽しみ。」、保護者からは「まち灯りには足を運んだことがなかったので、ろうそく作りから参加してみた。」などの感想がありました。ろうそく作りには、このほか能代養護学校高等部 2 年生から 200 個の協力がありました。上町すみれ会分も合わせ 650 個のろうそくが製作されました。ご協力ありがとうございました。

文： 大山 敏昭



寺内先生のお話には子どもだけでなく、おともも引き込まれてしまいます。



初めての子どもそうでない子ども、温度計や食べ物のおいする油に興味深々。すみれ会の説明も馴れたものになりました。



こちらでも毎回、大人気の化学実験です。残念ながら BDF を燃料としたバスは今回は走りませんが、興味をもって下さると嬉しいです。



最後にできあがったろうそくを灯してみます。思っていた以上にきれいな光に思わず、お〜っという声も聞かれました。当日が楽しみですね。